

2008年6月3日

マレーシア中銀、R&I を新バーゼル規制の適格格付機関に認定 日系企業の資金調達に寄与

格付投資情報センター（R&I）は2008年6月3日、マレーシア中央銀行（Bank Negara Malaysia）から、適格外部格付機関（ECAI=External Credit Assessment Institution）に認定されました。

マレーシアは2008年1月から金融機関に新しい自己資本比率規制（バーゼルII）の枠組みを適用しています。R&Iは今回、同規制の下で金融機関が保有する資産の信用リスクウエートの判定基準となる格付けを提供する機関として認定されました。対象となる分野は、イスラム法に準拠した債券を除く、国・地方自治体、事業会社、銀行・投資会社、保険会社およびストラクチャード・ファイナンスです。マレーシアには多数の日系企業が進出しており、今後、その借入や債券発行の信用リスク判定に際し、現地金融機関がR&Iの格付けを参照することが可能となります。

R&Iはすでに日本および香港でECAI認定を受けており、今回はアジアで3カ国・地域目のECAI認定となります。また、タイ証券取引委員会は、非居住者や海外事業法人のタイ現地法人がタイパーツ建て債券を発行する際の認定格付機関（Approved Credit Rating Agency）としてR&Iを指定しています。

米国においては、R&Iは米証券取引委員会（SEC）により、米格付会社改革法に基づくNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization、全米で認知された統計的格付け機関）として登録されています。

R&Iは、今回の決定について「当社の格付けが円債市場を中心に幅広く利用され、格付けの客観性、独立性、透明性および信頼性が的確に評価された結果」と受け止めています。今後も、最も信頼され、最も使われる格付機関をめざして、格付けの信頼性の一層の向上に努めていきます。

R&Iは1998年、日本インバスターズサービス（NIS）と日本公社債研究所（JBRI）が合併して発足しました。R&Iは5月末現在、746社の発行体に長期格付けを付与しています。また各種の金融情報サービスや無料ホームページなどを通じて、発行体、投資家をはじめとする市場関係者に広く情報を提供しています。R&Iは香港とニューヨークに事務所を持ち、海外の国や企業にも格付けを付与しています。

（株）格付投資情報センター（R&I）の概要

本社：東京

資本金：5億8800万円

代表取締役社長：久保庭 啓一郎

社員数：187人（2008年5月末）

主要株主：日本経済新聞社グループ（58.6%、2008年5月末）

本件に関するお問い合わせは、格付投資情報センター（R&I）経営企画室（tel:03-3276-3448、e-mail:infodept@r-i.co.jp）までお願いいたします。

●お問い合わせ先 **株式会社格付投資情報センター 経営企画室** 〒103-0027 東京都中央区日本橋1-4-1 日本橋一丁目ビルディング

TEL.03-3276-3497 FAX.03-3276-3405 <http://www.r-i.co.jp> E-mail: infodept@r-i.co.jp

格付けは、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務（債券やローンなど）の支払いの確実性（信用力）に対するR&Iの意見を、一定の符号で投資家に投資情報として提供するものであり、債券やコマーシャルペーパーなどの売買・保有を推奨するものではありません。格付けは信頼すべき情報に基づいたR&Iの意見であり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されてはいません。格付けは原則として発行者から対価を受領して実施したものです。